

自立活動 教材教具カード

名称	スケジュールカード
区分・項目	2 心理的な安定(2) 状況の理解と変化への対応に関すること
<p>課題内容</p> <p>・</p> <p>指導例及び留意点</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>机の前の壁に設置するタイプのもの</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>カードを外して入れる</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ゴムで机の上に設置するタイプのもの</p>  </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・朝や帰りの流れをカードで示している。一つの活動が終わったら、その活動のカードをはがして一番下の箱に入れる。次は何をするのか、あとどれくらいで終わるのが見て分かる。 ・文字の読める子どもの場合、紙に文字で書いてあるスケジュールでもよい。実態に合わせて作る。 ・スケジュールがあることで、指示がなくても自分から動けるようになり、見通しがもてることで安心して過ごすことができる。
材料、購入先 予算価格	ファイルを切ったものや、ラミネートした紙を台紙にする。箱、ゴムは100均のものを使う。
備考	・最後に子どもの好きな活動を入れること、カードを自分で操作することがスケジュールを取り入れる「こつ」。